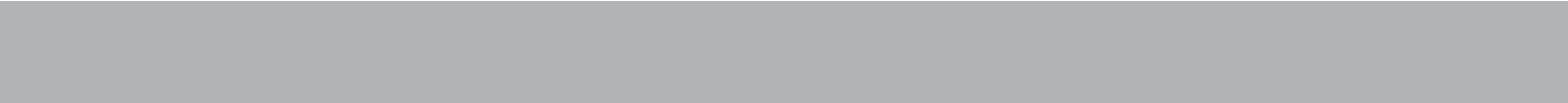


名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部
アウトリーチ活動報告書 2016





INDEX

■名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて	2
■名大カフェ “Science, and Me”	3
■名古屋大学オープンレクチャー 2017	4
■行きたい想いが加速する 名大研究室の扉 in 河合塾	6
■夏休み あいちサイエンスフェスティバル 2016	8
■あいちサイエンスフェスティバル 2016	9
■あいちサイエンスフェスティバル 2016 サイエンストーク	11
■あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク連携事業	12
■Tongali (とんがり) プロジェクト	14
■展示会への出展実績	16
■ビジネス人材育成センター セミナー・国際産学連携セミナー	18
■シンポジウム・セミナー等	19

名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 アウトリーチ活動の取り組みについて

2014年の赤崎勇・天野浩両先生、2015年の梶田隆章先生に続き、2016年も大隅良典先生が、ノーベル賞を受賞されました。科学技術研究に対する国民の期待や関心はますます高まり、将来は科学者や研究者になりたいという子どもが増えているというニュースも目にしました。

「教育」「研究」に並び「社会貢献」が大学の第3の使命と言われて久しい中、名古屋大学も社会の皆様とのコミュニケーションを深めながら、新たな社会的価値を創出する知の拠点として、発展していきたいと考えています。こうした課題に応えるため、学術研究・産学官連携推進本部では、前身のリサーチ・アドミニストレーション室（URA室）の活動を引き継ぎ、本学の研究成果普及と市民対話を目的としたアウトリーチ活動を実施しています。本学では多くの部局・部署が公開講座や講演会等を実施していますが、学術研究・産学官連携推進本部では、その設置目的に鑑み、特に「研究支援」と「地域連携」の視点を重視して、大型研究費を獲得した研究の成果発信や、地域諸機関や企業との交流に力を入れています。

URA室が2012年度に「アウトリーチ活動報告書」を発行して以来、今回で5冊目の報告書となります。これまでは、主に一般市民を対象としたアウトリーチ活動を掲載してきましたが、今回からは、起業家育成やビジネス系展示会など、企業の皆様との交流活動も掲載し、学術研究・産学官連携推進本部のアウトリーチ活動の総体を捉えやすいように改善いたしました。

日本の大学を取り巻く状況は厳しいものがあります。しかし、次世代を担う若者の将来のためにも、持続可能な社会を築く知の拠点として、大学が担う役割はさらに大きくなるものと思います。今後も学術研究・産学官連携推進本部では、本学の知のシーズを社会に発信し、社会の皆様との関係を築きながら、さらなる学術研究の発展と、産学官連携の推進に取り組んでまいります。

2017年3月



名古屋大学副総長／
学術研究・産学官連携推進本部長
財 満 鎮 明

SCIENCE, AND SME

名大カフェ “Science, and Me”

<http://www.aip.nagoya-u.ac.jp/public/mcafe/index.html>

科学が進歩する昨今、より豊かな社会生活を行っていく上で科学技術の知識が必要となっている一方で、専門家と市民との間で考えかたや知識の差が大きくなってきています。そのため、専門家を囲みながら、科学を気楽に楽しみコミュニケーションするサイエンスカフェとして、「名大カフェ “Science, and Me”」を2010年7月から名古屋市の繁華街で開催しています。



2016年5月25日(水) 18:30-20:00

第67回 接ぎ木のサイエンス

ゲスト：野田口理孝（名古屋大学大学院理学研究科特任助教（当時））
ファシリテーター：戸次真一郎（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 URA）
会場：青少年ひろば（7th CAFE）



農業で盛んに使われる古い技術なのに、未解明なことが多い「接ぎ木」。新しく発見されたタバコ属を使った「異科接ぎ木」の技術は、植物の能力の解明だけでなく、栽培しやすい農作物が作れる事が紹介され、参加者から強い期待が

寄せられていました。

2016年7月8日(金) 18:30-20:00

第68回 文学×ジェンダー

ゲスト：飯田祐子（名古屋大学大学院文学研究科教授）
ファシリテーター：成玖美（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部主任 URA）
会場：ジュンク堂書店ロフト名古屋店7階ブックサロン



文学作品を書く際、作家はそれを「読まれること」（被読性）を意識しながら書いています。「女性」の作品であるという読者からのまなざしに曝され、男性作家にはない「語りにくさ」を抱える近代女性作家たち。その葛藤と戦術を解説し、

研究として小説を読む奥深さを伝えました。

2016年12月19日(月) 18:30-20:00

第69回 オーロラから宇宙をさぐる

ゲスト：塩川和夫（名古屋大学宇宙地球環境研究所教授）
ファシリテーター：戸次真一郎（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 URA）
会場：青少年ひろば（7th CAFE）



美しいオーロラが映し出す地球磁場やプラズマの流れ、過去の観測記録や低緯度オーロラなどの紹介があり、多くの参加者の興味を集めました。翌日の12月20日に打上げのERG衛星による宇宙観測と地上での観測、シミュレーションとを組

み合わせた「宇宙嵐発達の謎」を解明する取り組みの紹介もありました。参加者はオーロラの新しい捉え方を得られてようです。

2017年1月25日(水) 18:30-20:00

第70回「藻類でバイオ燃料をつくるはなし」はどこまで進んだか

ゲスト：小俣達男（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）
ファシリテーター：戸次真一郎（名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部 URA）
会場：青少年ひろば（7th CAFE）



藻類は健康食品として使われ始めていますが、バイオ燃料として使用するには、少ない生産コストを実現する必要があります。多くの課題を抱えています。解決策として、細胞分裂を押しさえ脂肪酸を細胞から排出する方法の研究の紹介がありました。

課題は多いですが、この基礎研究からバイオ燃料を含む新しいイノベーションが生まれるかもしれません。

名古屋大学 オープンレクチャー 2017

名古屋大学の研究者が行っている
様々な分野の最先端研究を紹介しました。

・概要

タイトル 名古屋大学オープンレクチャー 2017

対象 一般（主に高校生）

日程 3月20日（月・祝）

参加者数 246名（申込者数 331名）

クラス数 6クラス

・当日スケジュール

15:00～15:20 大学概要説明ほか

（理学南館 坂田・平田ホール）

15:30～17:00 公開講座

・公開講座一覧

居波賢二 素粒子を調べる最強加速器実験のはなし

門脇誠二 資源開発と技術革新の昔ばなし：人類史から学ぶ生存戦略

木下俊則 植物の巧みな生き方のはなし

坪木和久 台風のはなし

武藤俊介 物質からのミクロな暗号を読み解くはなし

楠美智子・北浦良・伊藤英人 世界で一番うすい物質のはなし

NAGOYA
UNIV.
OPEN
LECTURE



一般の方を対象に
研究をわかりやすくお
話します。少人数の講義
スタイルで、大学・研究者・
最先端研究が身近に感しら
れるこの機会に、ぜひ
ご参加下さい。



名古屋大学概要説明



大学概要説明等会場



挨拶をする財満本部長

今年は、学内の6研究科・研究施設に所属する8名の研究者が6講座に分かれて公開講座を行いました。冒頭、学術研究・産学官連携推進本部の財満本部長より開催挨拶がありました。その後、成主任 URA から今年度の大学トピックスを中心とした、大学概要説明がありました。トランスフォーマティブ生命分子研究所が高い評価を受けていること、国際化、男女共同参画の取組などが紹介されました。

素粒子を調べる最強加速器実験のはなし

講師：居波賢二（理学研究科准教授）



素粒子研究の紹介から、小林益川理論を含めた発見の歴史と次世代の加速器実験について紹介しました。参加者から多くの質問があり、素粒子研究の先端に行く実験施設の規模の大きさを実感する講義になりました。

資源開発と技術革新の昔ばなし：人類史から学ぶ生存戦略

講師：門脇誠二（名古屋大学博物館講師）



食料資源の減少などの課題に人類が直面しながら、それを解決した技術革新などを紹介しました。実際の石器を使った観察を交えながら、遙か以前から行われている技術革新と人類が直面している課題の解決について考える機会となりました。

植物の巧みな生き方のはなし

講師：木下俊則（トランスフォーマティブ生命分子研究所教授）



過酷な環境でも生き抜く植物の仕組みについて紹介しました。学校でも学ぶ気孔の開閉の仕組みを紹介し、参加者は実際に研究で使われている植物の気孔を観察しました。植物の持つ可能性を感じさせる講義でした。

台風のはなし

講師：坪木和久（宇宙地球環境研究所教授）



温暖化が社会で話題に上がる中、温暖化がもたらす、台風の変化を紹介しました。数値モデルを使った強度予測、大型化した台風のシミュレーションを見ながら、将来の台風に対する備えの重要性を感じさせる講義でした。

物質からのマイクロな暗号を読み解くはなし

講師：武藤俊介（未来材料・システム研究所教授）



バッテリーやプリンタヘッドなどの工業製品の性能を決めるナノテクノロジーと、物質の性質を解き明かす電子顕微鏡を紹介しました。実際に最新の電子顕微鏡を体験する機会もあり、ナノテクノロジーを支える電子顕微鏡の性能を知る機会にもなりました。

世界で一番うすい物質のはなし

講師：楠美智子（未来材料・システム研究所教授）
北浦良（理学研究科准教授）
伊藤英人（教養教育院講師）



実験を交えながら、原子1個の厚さを持つグラフェンの性質や合成などを紹介しました。講演終了後には実験施設の見学会も行われ、グラフェンの可能性や研究を身近に感じられる講義になりました。

行きたい想いが加速する

名大研究室の扉 in 河合塾



高校生を中心とした受験生を対象としたイベント。2014年5月から開催。学校法人河合塾と共催し、大学で行われている先端研究を学部ごとに紹介すると共に、研究者や大学院生と直接話をする事で研究の奥深さや大学で何を学ぶかを考える機会を提供します。

- 開催時期 2016年5月29日より6回開催。
(これまでに2014年、2015年で全12回にわたり、9学部を紹介済み。)
- 会場 河合塾名古屋校、河合塾千種校
- イベント内容
 - ① 講師による研究紹介（60分）
 - ② 大学院生による研究と大学生生活の紹介（30分）
 - ③ 講師・大学院生との懇談会（30分）
- 本イベントの特徴
 - ① 全学部から選ばれた最先端研究を担う研究者が講師として参加します。
 - ② 研究室で活躍する大学院生も講師として参加し懇談会も行い参加者からの質問に答えます。
 - ③ 大学での先端研究の現場を知ること、研究へのモチベーションを持ってもらうきっかけを作ります。
 - ④ 名古屋大学の研究活動を知ってもらう事で、適切な大学や学部に進学する手助けをします。
 - ⑤ 河合塾との共催で、高校生が知りたい情報をイベントに盛り込み、広く情報発信します。



理学部の回で開催挨拶をする國枝理事



2016年5月29日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)
惑星の誕生に迫る—小惑星探査機はやぶさ2の挑戦—

[理学部]: 渡邊誠一郎 (環境学研究科教授)
 院生 (多元数理学研究科)
 院生 (理学研究科 素粒子宇宙物理学専攻)

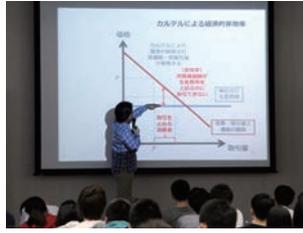


渡邊先生は、地球の水の根源、生命を構成する有機物の由来等の謎を解く「はやぶさ2」の挑戦について講演し、院生からは研究に興味を持ったきっかけや高校・大学・大学院での活動がどのように将来につながるのかについて紹介

がありました。懇談会では進路の相談や、研究の活用法などの質問があり、高校での学習がどのように大学での研究につながるのかを知る良い機会になったようです。

2016年6月12日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)
ゲーム理論で「談合」を科学する

[経済学部]: 花菌誠 (経済学研究科准教授)
 院生 (経済学研究科 産業経営システム専攻)
 院生 (国際開発研究科 国際開発専攻)



花菌先生は「経済学の魅力は、人々の行動やその動機を基礎として、社会状況や問題点・解決策を解明しようとするクールさであること」と紹介し、統計やリニエンシー制度による談合の調査研究について講演しました。院生からは会計学、

経済開発の研究について紹介があり、研究方法を知る良い機会になりました。「大学院への進学は考えたことがなかったので今回色々大学院の事がわかった」、「研究は大変そうだけど楽しそう」といった感想がありました。

2016年7月3日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)
再生医療を加速する工学：人工たんぱく質をつくる

[工学部]: 鳴瀧彩絵 (工学研究科准教授)
 院生 (工学研究科 航空宇宙工学専攻)
 院生 (環境学研究科 都市環境学専攻)



鳴瀧先生は、再生医療を加速させるため、エラスチン人工たんぱく質を使用した、臓器を作るための研究について講演し、院生の講演では、学部や院生生活の紹介と、それぞれの個性的な進路選択の課程などを紹介しました。懇談会

では参加者から学部の違いや就職状況など様々な質問がありました。入学してからの注意点等のアドバイスが参考になり、また、自由な校風にも魅力を感じられたようです。

2016年8月28日(日) 14:00-16:00 (河合塾千種校)
活躍する昆虫ウイルス

[農学部]: 池田素子 (生命農学研究科教授)
 院生 (創薬科学研究科 基盤創薬学専攻)
 院生 (生命農学研究科 生命技術科学専攻)



池田先生の講演では、「昆虫ウイルス」を農薬として利用する事や、ウイルスを利用した昆虫機能の開発等の研究紹介がありました。院生の講演では、自発的に研究を行う姿勢に強い関心が集まりました。懇談会では参加者からウイルス

研究をするために高校でやるべきこと、学部の違いなど多岐にわたる質問があり、「ウイルスについて詳しく知れた」、「大学院の様々な話を聞いて良かった」などの感想がありました。

2016年9月11日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)
iPS細胞やプラズマなど再生医療の進歩が目覚ましい眼科

[医学部]: 寺崎浩子 (医学系研究科教授)
 院生 (医学系研究科 医科学専攻)
 院生 (医学系研究科 名古屋大学・アトレード大学国際連携総合医学専攻)



寺崎先生の講演では iPS 細胞の移植やプラズマ溶液を使った先端の眼科治療を紹介しました。その後、医学部からと、他学部から医学部大学院へ進学した院生から、多彩な経歴を活かした研究内容の講演がありました。懇談会では、参加

者からの研究や院生生活などの質問に対し丁寧に回答をしました。参加者は研究医に興味をもて、疑問や不安が減りモチベーションが上がったようです。

2016年10月30日(日) 14:00-16:00 (河合塾名古屋校)
ヘレニズム文明を発掘する

[文学部]: 周藤芳幸 (文学研究科教授)
 院生 (国際言語文化研究科)
 院生 (文学研究科 歴史文化学コース 西洋史学専門)



周藤先生の講演ではヘレニズム時代のグローバル化を中心に研究を紹介。現在のグローバル化を考慮する際の良い事例になると伝え、参加者の関心が集まりました。院生の講演では研究方法や院生生活の紹介がありました。懇談会では、

海外調査の苦勞や外国語習得法、教科書と現場の違いなど、参加者から多彩な質問がありました。「文学部の定義が印象的」、「講演者・参加者との距離が近く、満足した」との感想がありました。

夏休み あいちサイエンスフェスティバル 2016

小・中・高校生向けのイベントを多数開催。今年は名古屋大学で宇宙に関連した大きな共催イベントが 2 つ開催されました。



ディスカバリーチャンネル科学実験室 ～コズミックカレッジ～ 2016

日時：2016年7月24日(日) 10:00-12:00
会場：名古屋大学豊田講堂
主催：ディスカバリー・ジャパン(株)、JAXA
共催：名古屋大学



“もうひとつの地球”を目指すという設定で子ども達が様々な実験やクイズを交えたミッションに挑戦。宇宙環境やロケットの推進方法や航法の他、最新の望遠鏡の仕組みや月面探査車などをテーマにしたミッションに挑戦し、チャレンジごとに興味に満ちた歓声が上がりました。ブース出展もあり、終了後も会場で宇宙に関する体験を楽しんでいました。宇宙環境や宇宙に挑戦する技術を学び・体験する良い機会になりました。

第 26 回英国科学実験講座 「クリスマスレクチャー 2016 ～宇宙でいかに生き抜くか」

日時：2016年8月21日(日) ①10:30-12:00、②14:00-15:30
会場：名古屋大学豊田講堂
主催：読売新聞
共催：名古屋大学



英国で 1825 年から行われている歴史あるサイエンスイベント「クリスマスレクチャー」の日本公演を、航空宇宙医師のケビン・フォンさんをメインゲストに迎え、「宇宙でいかに生き抜くか」と題して開催しました。講座では参加者からボランティアを募りながら、宇宙に関わる様々な実験をしました。大学や企業のブース出展もあり、子どもたちが宇宙を体感できる貴重な機会になったようです。

炭のはたらきすみずみまで～夢のカーボン材料の魅力～

日時：2016年8月5日(金) 13:30-15:00
会場：名古屋市鶴舞中央図書館
講師：三浦亜季(名古屋大学 JST-ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクト研究推進主任)
主催：名古屋市鶴舞中央図書館
共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



グループに分かれて、炭の消臭や電気を通す性質について実験し、炭の構造や化学的な性質を考えてもらいました。名古屋大学が夢のカーボン材料を研究中であることには、特に興味・関心を見出していた様子で活発に質問が飛び交いました。

キッズボタニカル・ラボ

日時：2016年8月27日(土) 13:00-16:30
講師：瀬上紹嗣(名古屋大学大学院生命農学研究科特任助教)
会場：東山動植物園植物会館
主催：名古屋市東山植物園
共催：名古屋大学大学院生命農学研究科細胞ダイナミクス研究室
名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



大学の研究者と一緒に実験ができるイベントを開催しました。植物のチカラ「光合成」について、実験を通して学んできました。仮説を立て、実験をするといった科学的な手順も体験していただきました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016



子どもから大人までを対象とし、サイエンスとものづくりのイベントを多数開催。今年は「未来を拓くモノづくり 2016」と「やっぱり大好き!宇宙の謎を探る」を特集のテーマとしました。



あいちサイエンスフェスティバル 2016 オープニングイベント 「ふくし × テクノロジーで未来はどうなる？」

日時：2016年9月24日（土）14:00-17:00

会場：名古屋大学 ES 総合館 ES ホール

講師：堀容子（一般社団法人ハッピーネット代表理事）

河上日出生（パナソニック（株）エコソリューションズ社）

水野正明（名古屋大学医学部附属病院教授）

柴田崇徳（産業技術総合研究所主任研究員）

岡田誠（富士通研究所/認知症フレンドリージャパン・イニシアチブ）

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

共催：一般社団法人ハッピーネット



パロと登壇した堀容子氏



講演する河上氏

科学技術イノベーション政策が推進される中、その方向性は果たして介護・福祉現場の課題や日常感覚に合っているのかという問題意識に立ち、研究開発者と介護・福祉関係者の考えをすり合わせ、ともに未来の社会について考えるシンポジウムを開催しました。

堀容子氏は「テクノロジーは介護・看護の現場を変えるのか？」と題し、現状ではテクノロジー導入に対する現場職員の苦手意識や抵抗感があるが、省力化だけでなく介護職の社会的地位向上へつながる面もあり、トライ＆エラーで導入に向けて進むべきだと話しました。

河上日出生氏は「パナソニックにおける介護ロボット開発・商品化取組事例の紹介」と題し、離床アシストベッドの開発過程を中心に、企業の取組みを紹介しました。

水野正明氏は「IoT を基盤にした地域包括ケア」と題し、高齢者の健康寿命延伸のためのポイントや、「電子@電子帳」による医療支援システムなどを紹介しました。

柴田崇徳氏は「人の心を豊かにする神経学的セラピー用ロボット・パロ」と題し、「パロ」が導入されている海外の介護施設での様子などを映像で紹介し、その効果について話しました。

その後、岡田誠氏をモデレーターとした、登壇者全員による討論会では、堀氏は、介護職の人々はテクノロジーの導入が自らの仕事を「奪う」と感じる傾向があるが、利用者のニーズは何かを重視し、テクノロジーを活用する意識を持つべきだと話しました。河上氏や柴田氏は、研究開発者は介護現場の人々との



講演する水野氏



講演する柴田氏



岡田氏をモデレーターに討論



ブース展示の様子

対話を通じてそのニーズを日々学んでいることや、テクノロジーの使い方を現場に丁寧に伝える人材育成の視点も重要であると話しました。水野氏は、地域においては医者も介護職も利用者も皆対等な立場であり、チームでよりよい地域福祉に向けて取り組む姿勢が重要であることを強調しました。

本イベントでは参加者同士の交流を深めるため、シンポジウムと並行して福祉関連企業等 10 団体がブース出展をおこないました。休憩時間やシンポジウム終了後の時間を利用して、参加者たちが気軽に意見交換を楽しみました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016



特別講演会

「梶田隆章先生講演会 & 宇宙論を楽しもう Day」

日時：2016年10月8日（土）10:00-15:00

会場：名古屋大学豊田講堂

講師：梶田隆章（東京大学宇宙線研究所所長）

伊藤好孝（名古屋大学宇宙地球環境研究所教授）

市来浄與（名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構講師）

佐藤修（名古屋大学未来材料・システム研究所助教）

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

午前の第1部ではノーベル物理学賞受賞者の梶田隆章氏に、ニュートリノの研究や重力波を中心とした今後の宇宙研究についてご講演いただきました。そのあとは名古屋大学の研究者も加わり、参加者からの質問に答えました。

昼休憩時には、梶田氏を交えて高校生との交流会を開催しました。高校生たちは、研究者を目指すために必要なことや研究生活などを梶田氏に質問するなど交流を楽しんでいました。参加した名古屋大学の研究者からも高校生たちに助言があり、宇宙研究を目指す高校生にとって研究現場に近づく良い機会になりました。

午後の第2部では名古屋大学の研究者による講演と、ブースによる研究紹介を行いました。講演には質問コーナーに参加した



講演する梶田氏



参加者からの質問に答える梶田氏（右）と、サポートする名古屋大学研究者たち



交流する梶田氏と高校生たち



第2部の講演の様子

市来氏と佐藤氏、および宇宙地球環境研究所の伊藤氏が登壇しました。ブースでは講演内容のブースの他、真空実験、ChubuSat2、宇宙教育グループの展覧もあり、大勢の参加者たちで賑わいました。

あいちサイエンスフェスティバル 2016 プレイイベント in イオンモール大高 「集まれ!未来の科学者たち!」

日時：2016年9月19日（月・祝）10:00-17:00

会場：イオンモール大高 グリーンコート

主催：愛知県、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



ブース出展したトランスフォーマティブ生命分子研究所とJST-ERATO 伊丹分子ナノカーボンプロジェクトは、カラーペンの色のサイエンスとペーパークロマトグラフィーの原理を工夫したオリジナルアート体験を提供しました。会場の周りには

あいちサイエンス・コミュニケーション・ネットワーク機関のイベント紹介パネルも設置し、多くの方にあいちサイエンスフェスティバルを知っていただく機会となりました。

水族館で楽しめる 名大発の新しいゲーム 「イクチオバトル」

日時：2016年10月19日（日）10:00-14:20

会場：碧南海浜水族館

講師：氏原温（名古屋大学大学院環境学研究所准教授）

主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

共催：碧南海浜水族館



名大発の教育的ゲーム「イクチオバトル」を、碧南海浜水族館にて開催しました。5名のプレゼンターはオリエンテーションを受けた後、水族館を自由に巡り、それぞれに魅力な魚をスケッチしてバトルに臨みました。バトルでは、一人3分

間のプレゼンテーションを実施、投票者により一番見たくなくなった魚が選ばれました。魚に関する発見を自ら人に伝えることで、魚への更なる興味・関心を引き出し、また新たな気づきを提供することができました。

ScienceTalk

サイエンストーク

あいちサイエンスフェスティバルでは、平日夜にサイエンストークを開催しています。科学技術をはじめ、ものづくりやカルチャーまで、広くサイエンスの話題を取り上げた専門家との交流イベントです。

2016年9月26日(木) 18:30-20:00

素粒子で探る宇宙の謎

講師：飯嶋徹(名古屋大学大学院理学研究科教授)
会場：Cafe&Bar Perms (パームス)
主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



日本からノーベル物理学賞受賞者を多数輩出している素粒子物理学の研究について、標準理論や小林・益川理論などを解説し、もうすぐ始まる「SuperKEKB/Belle II 実験」についても紹介しました。ASF サイエンストークの初回でしたが、

多くの方に参加いただき、大変盛況でした。

2016年10月12日(水) 18:30-20:00

光を浴びると動く色素?

講師：関隆広(名古屋大学大学院工学研究科教授)
会場：文化系飲食店「ボクモ」
主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



光を照射すると色が変化したり動いたりする、フォトクロミック色素の研究開発について、その特性を利用した実物や動画を見せながら、わかりやすく解説されました。2016年ノーベル化学賞との関係や受賞者とのエピソードも紹介され、分子

の世界の奥深さを楽しむことができました。

2016年10月19日(水) 18:30-20:00

微細藻類をバイオ燃料にするには

講師：神田英輝(名古屋大学大学院工学研究科助教)
会場：文化系飲食店「ボクモ」
主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



微細藻類のバイオ燃料化工程において、現状では、乾燥や溶媒蒸発のために生産量を上回るエネルギーを消費しています。その問題を克服する、液化DMEを用いた効率の良いオイル抽出法が紹介されました。トーク終了後、参加者から熱心な質問があり、関心の高さが感じられました。

2016年10月3日(月) 18:30-19:45

「科学者」はいつからいたのか? 17-19世紀の学者たちとその歴史

講師：隠岐さや香(名古屋大学大学院経済学研究科教授)
会場：ジュンク堂書店ロフト名古屋店7階ブックサロン
主催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



近代初期、科学の価値が自明でなかった時代の“scientist”という言葉について、主にパリ王立アカデミーを事例にし、科学者たちが科学の有用性を提言し、社会改善事業に協力するなどして国家との関係性を築きながら自らの地位を確立し

ていった過程を、絵画や史料を用いて、興味深くお話しいただきました。

2016年10月14日(金) 18:30-20:00

磁石と超伝導と宇宙を結ぶ物理

講師：佐藤憲昭(名古屋大学大学院理学研究科教授)
会場：名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催：名古屋市鶴舞中央図書館
共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



小さなスケールの超伝導の話と大きなスケールの宇宙の話がつながる物理の世界のお話に皆さん聞き入っていました。また、めったに見ることのできない物理現象の実験の動画もネットなどで見ることできると知り、大変驚きを感じました。

2016年10月20日(木) 18:30-20:00

放射線炭素で石のどのような年代がわかるか

講師：南雅代(名古屋大学宇宙環境研究所准教授)
会場：名古屋市鶴舞中央図書館 第1集会室
主催：名古屋市鶴舞中央図書館
共催：名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部



年代測定の手法の一つであるC14年代測定についてのお話をさせていただきました。C14の年代測定の仕組みや、隕石など様々な物質の年代測定に使われることを知り、年代測定の可能性について知る機会となりました。

あいち・サイエンスコミュニケーション・ネットワーク連携事業

蒲郡市生命の海科学館 サイエンストーク 「研究者らが魅せる、海と結晶のコレクション!」

日時：2016年7月18日(祝) 14:00-15:30
会場：蒲郡市生命の海科学館
講師：梅村綾子(名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部)
主催：蒲郡市生命の海科学館



名古屋大学の3人の研究者が行っている、さまざまな研究を紹介しました。講師の軽快で楽しそうな話しぶりと、魅力的な研究の数々に、参加者たちは引き込まれていました。

蒲郡市生命の海科学館 ノーベル賞受賞者梶田隆章氏講演会(中継・サテライトイベント)

日時：2016年10月8日(土) 10:00-12:00
会場：蒲郡市生命の海科学館
講師：中竜大(名古屋大学素粒子宇宙起源研究機構特任助教)
主催：蒲郡市生命の海科学館



名古屋大学で開催される「梶田隆章氏講演会」を中継しました。また、中先生をサテライト講師とし、ニュートリノや暗黒物質など、現在進行中の素粒子実験物理学の最先端の研究について、ご紹介していただきました。

名古屋大学出前授業 in 豊橋 2016 物理・化学系講座

会場：豊橋市視聴覚教育センター 主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

「世界的な研究は出会いと偶然から -ナノカーボンの世界-」

日時：2016年10月30日(日) 13:30-15:00
講師：篠原久典(名古屋大学大学院理学研究科教授)



ナノサイエンス・ナノテクノロジーというご自身の研究テーマ・内容をご講演いただくとともに、研究を進める上で出会った様々な共同研究者たちや不思議な体験を、エピソードとともにご紹介いただきました。

「医療分野における3Dプリンタ」

日時：2016年11月13日(日) 13:30-15:00
講師：森健策(名古屋大学情報基盤センター教授)



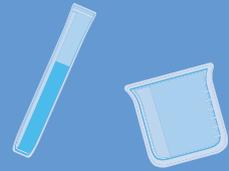
昨今注目を集めている3Dプリンタ。そんな3Dプリンタによって臓器モデルがどのように作成され、医療現場でどのように活躍されているのか、先端の研究とともにご紹介いただきました。

「未知の世界を"みる・つくる"電子ビーム」

日時：2016年12月25日(日) 13:30-15:00
講師：西谷智博(名古屋大学シンクロtron光研究センター特任講師)



スマホの加工技術や宇宙観測など幅広い産業で活躍している電子ビームとは一体どんなものであるのか、半導体フォトリソを応用すると将来どんな製品が期待されるのかについて、研究・開発・事業化までの取り組みをご紹介いただきました。



名古屋大学出前授業 in 豊橋 2016 生物・自然史系講座

会場：豊橋市自然史博物館 主催：豊橋市、豊橋市教育委員会、名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

「隕石衝突は地球に何をもたらしたのか？」

日時：2016年11月27日(日)14:00-15:30

講師：三村耕一(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)



約40億年前に頻発した隕石衝突は、生命の原料(有機物)を供給し、地球生命誕生のきっかけを与えたと考えられています。「破壊」と「創造」の2つの面を持った隕石衝突をテーマに、生命誕生への最初のステップについて紹介しました。

「植物のからだを覗いてみよう」

日時：2016年12月4日(日)14:00-15:30

講師：栗原大輔(名古屋大学大学院理学研究科特任助教)



根や茎、葉、花など様々な器官をもつ植物の体は、その形や役割も多様です。植物の器官の役割を明らかにするために、植物を丸ごと透明にする方法や、顕微鏡で内部を観察する研究について紹介しました。

「ハイテク動物行動学：バイオリギング」

日時：2016年12月11日(日)14:00-15:30

講師：依田憲(名古屋大学大学院環境学研究科教授)



動物行動学において、自分の目で観察することは最も大事ですが、目の届かないところで活動する野生動物の行動を観ることはできません。そこで、動物にビデオカメラなどを装着して行動を記録する、バイオリギングという研究手法について紹介しました。

安城市中央図書館 サンデーサイエンス講座

会場：安城市中央図書館 主催：安城市中央図書館

「トリケラトプスの歩き方をどこまで復元できるか」

日時：2016年10月30日(日)14:00-16:00

講師：藤原慎一(名古屋大学博物館助教)

絶滅した恐竜の歩き方や姿勢をホネの形から推理する学問の最前線を、模型や映像を駆使して分かりやすく説明していただきました。ときどきジョークを交えながらの講義で、和やかな雰囲気での講座となりました。

「砂場遊びの宇宙」

日時：2016年11月13日(土)14:00-16:00

講師：桂木洋光(名古屋大学大学院環境学研究科准教授)

身の回りにある粒々、粉々の物質の不思議な性質の具体例をたくさん示し、それが宇宙レベルで起こっている現象を考える上で欠くことのできないものであるという内容でした。意外なことに研究はまだ進んでいないというのも驚きでした。

守山図書館 サイエンス講座 「微細(びさい)藻類(そうるい)は人類の未来を変えるか？」

日時：2017年2月4日(土)10:30-12:00

講師：小俣達男(名古屋大学大学院生命農学研究科教授)

会場：名古屋市守山図書館

主催：守山図書館

Tongali (とんがり) プロジェクト

Tongali : Tokai Network for Global Leading Innovators

<http://tongali.aip.nagoya-u.ac.jp/>



Tongali シンポジウム 2016 ～スタートアップセミナー～

日時：2016年7月2日(土) 13:00-18:00

会場：東海東京証券株式会社オルクドールホール

トップレベルの起業家たちが一堂に会し、「挑戦」「夢」「お金」等について、参加者と一緒に考え、議論する完全オフレコのワークショップとして開催しました。基調講演は、ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)スタジオ・グループゼネラルマネージャー 塚越隆行氏にイノベーションについて話していただきました。未来をリードする参加者が、今までの人生観を変え今後の人生を真剣に考える、「起業」はもちろんのこと、それぞれのフィールドで夢の実現に向け挑戦するのに必要なイノベティブな「マインド」や「姿勢」を考える機会となりました。



Tongali school

日時：2016年9月21日より13回開催

会場：名古屋ルーセントタワー(9月21、22日)

名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス(NIC)(上記以外)

アイデア創出や知的財産・ファイナンスなど各分野の専門家を講師に迎え、起業に必要なスキルを段階的に学びながら、将来の起業家・イノベーションリーダー候補(Tongali人材)の育成を目指しました。



Tongali School I <ビジネスをデザインする>

- ・デンマーク流 アイデア創出とビジネス転換①②
9月21日(水)・9月22日(木・祝) 10:00-17:00
- ・ビジネスモデルジェネレーション①②③
10月1日(土)、22日(土)・11月12日(土) 10:00-17:00



Tongali School II <テクニカルスキルを得る>

- ・知的財産と起業①②
10月4日(火)・10月11日(火) 18:00-19:30
- ・国際標準化戦略～グローバル市場を目指せ～①②③
10月18日(火)、25日(火)・11月1日(火) 18:00-19:30
- ・アントレプレナーシップファイナンス
11月8日(火) 18:00-19:30

Tongali School III <アイデアを事業化する>

- ・伝わるプレゼン～ワンランク上の信頼を勝ち取れ～
11月26日(土) 10:00-15:00
- ・事業になるアイデアを発想するためのワークショップ
12月10日(土) 10:00-18:00



「Tongali（とんがり）プロジェクト」とは、この地域から積極的に事業化にチャレンジするリーダーを育成・輩出するための、学生、大学院生、卒業生を対象とするアントレプレナーシップ教育です。実際に起業経験を持つメンターから起業について直接的な指導を受けられ、研究シーズ（アイデア創発）から起業（EXIT）までを、初歩から段階的に学べる体制を整えています。



アイデアピッチコンテスト

日時：2016年12月22日（木）17:00-19:30
会場：名古屋大学 ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC） Idea Stoa

自らが温めているアイデア、ビジネスプランなどをそのまま眠らせておくのではなく、実現させる「アイデアピッチコンテスト」。採択されたアイデアは、3ヶ月をめぐりにマーケティング・調査・検証等を行い、確度の高い事業計画に仕上げるための過程を学び・実践することを目的としています。

13 チームが参加し、7名の有識者による審査と、当日参加した一般聴講者による投票の結果、5チームに Tongali 賞（優秀賞）が授与されました。また、東海東京フィナンシャル・グループと株式会社 OKB 総研の協賛企業 2 社からは、スーパー東海東京賞、OKB 総研賞が贈られました。



リーンローンチパッド名古屋

「リーンスタートアップ」という新規事業を迅速かつ効率的に立ち上げる手法を学ぶ実践型セミナーです。新規事業立ち上げの理論を実践的に学び、今求められている『新たな価値を創造する力』を鍛えました。

第1回 製品アイデアからビジネスモデルの骨格を構築し検証する方法を身につける

日時：1月14日（土）9:00-18:00

会場：ウインクあいち

第2回 ビジネスモデルの検証のための必要最低限の製品（ミニマムバイアブルプロダクト、MVP）の技法を学び実際に作ってみる

日時：1月28日（土）9:00-18:00

会場：名古屋大学ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）

第3回 マネタイズを工夫して収益性を高める方法を学び実践する

日時：2月11日（土・祝）13:00-17:00

会場：名古屋大学ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）

第4回 プランニングからプランへ。ビジネスモデルをもとにビジネスプランを作る

日時：2月26日（日）9:00-18:00

会場：ウインクあいち

第5回 スケーラビリティを高める方法とビジネスモデルを工夫し持続的な優位性を構築する方法を学び実践する

日時：3月11日（土）13:00-17:00

会場：名古屋大学ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）

第6回 DEMODAY で世の中にビジネスプランを披露する

日時：3月25日（土）13:00-16:00

会場：名古屋大学ナショナル・イノベーション・コンプレックス（NIC）



展示会への出展実績

『JST フェア 2016』 および 『産学パートナーシップ創造展』 に出展

日時：2016年8月25日（木）・26日（金）

会場：東京ビッグサイト

主催：文部科学省

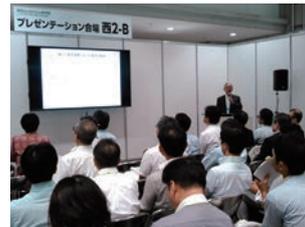
共催：科学技術振興機構（JST）

JST フェアは、「未来の産業創造」を目指した将来の社会・経済に貢献する革新的基礎研究事例や産学連携成果による製品化事例などを紹介するものです。

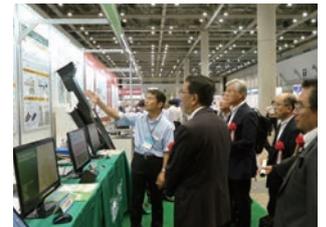
本学は、未来社会創造機構の COI プログラムから、高齢者が安全に安心して移動できる社会の実現を目指した研究を、ドライビングシミュレーターやプリウス（自動運転・実車）を展示し説明しました。

また、産学パートナーシップ創造展は、イノベーション創出に向け、今後の産学連携による本格的な共同研究について、選考された 20 の国公立大学の取組を紹介し、産業界とのお見合いの場として実施されました。これは大学と産業界が新たなパートナーシップを創造し、これまでにない新しい価値の創出と、産学官の「本気の」共創が、広くアカデミア全体に浸透するねらいがありました。

本学は、大学全体で組織的に進めている大型共同研究事例を 4 つ紹介し、①窒化ガリウム (GaN) 研究拠点の整備 (IMaSS)、②熱可塑性 CFRP の開発 (NCC)、③プラズマが拓く《産業、医療、農水産》イノベーションの推進 (PNRC)、④ICT 活用農業 事業化・



本学の取組を説明する財満本部長



窒化ガリウム (GaN) 研究拠点の説明の様子



ドライビングシミュレーター体験の様子



ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクトの説明の様子

普及プロジェクト（本学はじめ 14 機関）の研究について展示しました。

2 日目には、財満副総長が「本学の本格的産学連携への取組～特色ある共同研究～」と題し、従来とは全く異なるスキームで導入を計画している共同研究制度について講演し、立ち見で人垣ができるほど来場者の関心を受けました。

イベント名 (会場)	開催日	内 容
第5回ものづくり岡崎フェアー (岡崎中央総合公園 総合体育館：愛知県)	2016年 7月13・14日 (木・金)	・産学連携成果(織物製の圧力センサ)の紹介
テクノフェア名大2016 (名古屋大学：愛知県)	9月2日 (金)	・名古屋 COI 拠点の研究紹介 (成果物、パネル、動画) ・「本格的産学連携～特色ある共同研究～の取組」の紹介 ・技術相談
第11回しんきんビジネスマッチングビジネス フェア2016 (ポートメッセ名古屋：愛知県)	9月21日 (水)	・「本格的産学連携～特色ある共同研究～の取組」の紹介 ・技術相談
ホームカミングデイ (名古屋大学：愛知県)	10月15日 (土)	・名古屋 COI 拠点の研究紹介 (パネル、動画) ・NIC 多世代共用スペース「名大ババ+ママカフェ」共催
TECH Biz EXPO 2016 (吹上ホール：愛知県)	11月16～18日 (水～金)	・「本格的産学連携～特色ある共同研究～の取組」の紹介 ・技術相談
第10回産学官連携交流会 (大府市役所：愛知県)	11月29日 (火)	・「名古屋大学 学術研究・産学官連携推進本部」の紹介 ・「名古屋大学協力会」の紹介
アグリビジネス創出フェア2016 in 東海 (名古屋大学：愛知県)	11月28・29日 (月・火)	・「農林水産省 異分野融合共同研究 ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト」の紹介
アグリビジネス創出フェア2016 (東京ビックサイト：東京都)	12月14～16日 (水～金)	・「農林水産省 異分野融合共同研究 ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト」の紹介
nano tech 2017 (東京ビックサイト：東京都)	2017年 2月15～17日 (水～金)	・「名古屋大学 ナノテクプラットフォーム」の紹介 ・「先端ナノバイオデバイス研究センター」の紹介
第8回とよたビジネスフェア (スカイホール豊田：愛知県)	3月16・17日 (木・金)	・名古屋 COI 拠点の研究紹介 (成果物、パネル、動画) ・「農林水産省 異分野融合共同研究 ICT 活用農業 事業化・普及プロジェクト」の紹介

ビジネス人材育成センター セミナー・国際産学連携セミナー

ビジネス人材育成センター セミナー（会場）	開催日	内 容
平成 28 年度前期第 1 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	2016 年 6 月 11 日 (土)	・留学 HOW TO ～留学経験談と、留学準備について～ ・知的財産とは～知財とは?特許の基礎知識、秘密保持など～
平成 28 年度前期第 2 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	6 月 25 日 (土)	・リサーチ・アドミニストレーター (URA) とは?～大学で研究マネジメント、研究者支援をする仕事～ ・真実らしき事実をとらえ問題解決に挑み、社会の役に (少しでも) 貢献する～シンクタンク業界で働く～
平成 28 年度前期第 3 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	7 月 16 日 (土)	・専門知を社会に生かすために～専門家の公共的役割と職業倫理から科学コミュニケーションまで～ ・聞かせるプレゼンテーションの準備とは～自分の位置を知り、基礎を学び、自分らしくを発見する～
平成 28 年度前期第 4 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	7 月 30 日 (土)	・博士たちの自己分析・強み発見・仕事研究
平成 28 年度前期第 5 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	8 月 6 日 (土)	・組織運営のためのアンガーマネジメント～「怒り」のを知って、コミュニケーションがうまくとれるコツを習得しよう～ ・種苗業界を知ろう!種苗会社との交流会～種苗会社数社のニーズを聞き、現状を知ろう～
平成 28 年度後期第 1 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	11 月 8 日 (火)	・アントレプレナーシップファイナンス
平成 28 年度後期第 2 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	11 月 26 日 (土)	・伝わるプレゼン～ワンランク上の信頼を勝ち取れ～ ・考えたこともなかった伝える技術～テレビが使うあの手とこの手
平成 28 年度後期第 3 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	12 月 10 日 (土)	・事業になるアイデアを発想するためのワークショップ (ビジネスモデル構築プログラム) ～スタンフォード大学版の顧客開発・仮説検証モデルの考え方を学ぶ～
平成 28 年度後期第 4 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	12 月 17 日 (土)	・弁理士って何だろう?～専門性を軸に多様な働き方をする～ ・Job Hunting in English & Communication Styles
平成 28 年度後期第 5 回 B 人セミナー (名古屋大学：愛知県)	2017 年 2 月 4 日 (土)	・博士の就活スタート・リスタート～社会からの評価と自己評価・私らしい未来を獲得するために～ ・開発コンサルタント業界を知ろう!～開発コンサルタント企業数社のニーズを聞き、現状を知ろう～

国際産学連携セミナー（会場）	開催日	内 容
バイオメディカルエンジニアリング産学連携セミナー (名古屋大学：愛知県)	2016 年 10 月 11 日 (火)	医療機器、ヘルスケア製品開発における世界の最先端事例に学ぶ。
医療機器開発の最前線 (パシフィコ横浜：神奈川県) (BioJapan 2016・再生医療 Japan2016 スポンサーセミナー)	10 月 14 日 (金)	BME 教育とイノベーションを世界的にリードしている 4 大学が、 (1) 種々の BME イノベーションを生み出し、高度な人材を輩出しているそれぞれの BME 教育システム、 (2) その BME イノベーションの具体的な最新事例 (モノ、サービス) について説明する。
国際機関キャリアガイダンス～国際機関で働くとは～ (名古屋大学：愛知県)	2017 年 2 月 22 日 (水)	国際機関で働くための「グローバル人材」とはなにか、「プロ」、「専門家」として求められている能力と そのためのキャリア形成について外務省国際機関人事センターより学ぶ。 また、実際に国際機関で働いている日本人より、機関紹介及びご自身がどのように専門家としてのキャリア 形成をしてきたのかを話していただく。

シンポジウム・セミナー等

シンポジウム・セミナー等（会場）	開催日	内容
公開シンポジウム「省エネルギー社会の実現に資する次世代半導体研究開発～青からパワーへ未来への挑戦～」 (学術総合センター—橋講堂：東京都)	2016年 5月18日(水)	次世代半導体による省エネ社会の実現及び産業競争力の強化に向け、これまでの日本の半導体研究開発の経験も踏まえ、総合的な討論を行う。
レゴエデュケーション × レゴランド × 名古屋大学 ワクワク体感シンポジウム (名古屋大学：愛知県)	5月21日(土)	レゴブロックのコンセプトからプログラミングまで、大人の好奇心を刺激する、ワクワク体感型シンポジウム。
博士人材の就職ガイダンス&キャリア相談会 @ 岡崎 (岡崎コンファレンスセンター：愛知県)	6月24日(金)	第1部：博士の多様なキャリアパスとしてロールモデル「企業での働き方」「アカデミアへの道」 2名による講演及びキャリアガイダンス 第2部：キャリア相談会
文部科学省情報ひろばイベントサイエンストーク (文部科学省：東京都)	8月26日(金)	名古屋 COI 拠点バイオデバイス加工グループの研究紹介講演、研究紹介 (成果物、パネル)
第6回 企業と博士人材の交流会 (名古屋大学：愛知県)	8月27日(土)	第1部：ポスターセッション 同分野・異分野を取り混ぜた企業担当者に対して、研究生活で身につけた技量や、社会に出てからも役立つ研究の統括能力のアピールを交えつつ、研究成果をわかりやすく説明する経験を積む 第2部：交流セッション 参加企業各社2分間ずつのプレゼンテーション後、学生、PDが企業ブースを訪れて情報交換を行う
第3回ユニバーサルビレッジ国際会議 2016 (UV2016) (名古屋大学：愛知県)	10月6～8日(木～土)	名古屋 COI 拠点研究分野を中心とした国際学会の開催 (IEEE ITSS テクニカルスポンサーシップ)
博士のキャリアパスシンポジウム (名古屋大学：愛知県)	10月20日(木)	現在の博士の状況を知る、産業界が求める人材について情報を得る、ロールモデルとなる先輩たちのキャリア選択の過程と現在の仕事ぶりを聞くことで、大学院生やポスドクの今後のキャリア選択に有効な機会とする。
キャリアパスを考えよう!～バイオ・ライフサイエンス系博士の活躍の仕方～ (パシフィコ横浜：神奈川県) (第39回日本分子生物学会年会)	11月30日(水)	アカデミア以外で活躍する博士から、いかにキャリアデザインし今の活躍に繋がったか、転職などでキャリアアップしたかを紹介いただく。それらを聞くことで、目先の就職ではなく長い人生を考えてもらうきっかけとしてもらう。
「人間機械協奏技術コンソーシアム」設立シンポジウム (早稲田大学：東京都)	12月9日(金)	「人と知能機械との協奏メカニズム解明と協奏価値に基づく新しい社会システムを構築するための基盤技術の創出」に向けて22社(参加予定含む)と共同研究を実施します。
窒化物等次世代半導体実用化情報提供セミナー (名古屋工業大学：愛知県)	12月13日(火)	「地域のオンリーワン技術を結集し、ものづくり企業が次世代半導体社会を創る」をテーマに、中小企業を主な対象として窒化物等次世代半導体の実用化に向けたセミナーを開催。
あすけあいプロジェクトフォーラム 2017 (足助交流館：愛知県)	2017年 1月22日(日)	名古屋 COI 拠点モデルコミュニティ形成グループ「あすけあいプロジェクト」の研究紹介。
平成28年度名古屋 COI 拠点成果発表会及び公開シンポジウム (名古屋大学：愛知県)	2月24日(金)	名古屋 COI 拠点の研究紹介、ポスターセッション、パネルディスカッション。



名古屋大学学術研究・産学官連携推進本部

〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町 NIC 3F 311
Tel:052-747-6791 Fax:052-747-6796 E-mail:outreach@aip.nagoya-u.ac.jp
www.aip.nagoya-u.ac.jp